



THE ART OF AGING



DIALOGUE WITH TIME

知恵ある人々との対話

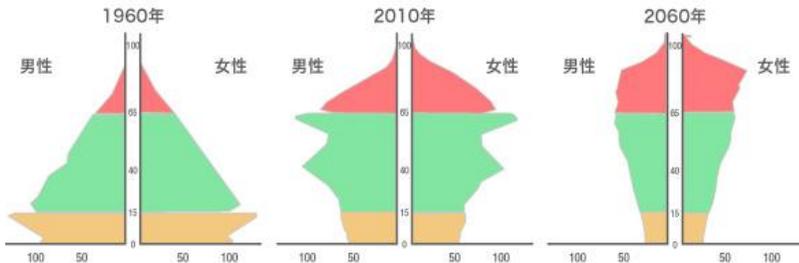
歳を重ねるといふ恵み

# ダイアログ・ウィズ・タイムを体験すると、人生の美しさに気づく。

「高齢化」は重要な社会問題です。世界中で急激な人口構造の変化が起きています。2050年には、世界人口の3分の1は65歳以上となると言われています。

しかし、これまで「高齢」について議論することは懸念されてきました。私たちは「高齢になる」「歳を重ねる」ということに、マイナスの考えや感情を持っているようです。

## 人口ピラミッドの変化



(注)縦軸は年齢、横軸は人口(単位:万人)。

(出典)1960年および2010年は総務省「国勢調査」、2060年は国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(2012年1月推計)」の出生中位・死亡中位推計。

ダイアログ・ウィズ・タイムでは、「高齢になるということ」を考え、世代を超えて、いのち、時間、生き方について対話をする体験型エンターテインメントです。

「歳を重ねること」は、大きな可能性をもてることであり、そして、将来へ様々な可能性をもつことができると感じていただきたいと思います。

ダイアログ・ウィズ・タイムを案内するアテンドは、70歳以上であることが第一の条件となります。高齢であるエキスパートが、案内役として活躍します。

アテンドが今まで時を重ねてきた人生経験を共有し、体験者との世代間を超えた対話により、これからの人生を考えるきっかけを生み出します。



「ダイアログ・ウィズ・タイム」は、2012年にイスラエルでスタート。  
以降ドイツ(フランクフルト、ベルリン)、スイス、フィンランド、台湾で開催。  
2017年はブラジル、シンガポールでも開催を予定しています。  
<http://www.dialogue-with-time.com/>

ダイアログ・ウィズ・タイムを通して、年齢における「高齢」「幸福」「健康」について考えてください。高齢になることで起こりうる心身の変化に目を向けた上で、歳を重ねることに希望が生まれます。

私たちの70歳以上のアテンドは、高齢になるということの意味を学び、アイデンティティを自覚していきます。アテンドが共有する人生経験をとおして、体験者は高齢者に対してより共感を持つようになります。

日本は世界で最も高齢化が進んだ社会です。90歳以上の人口は最も多いでしょう。高齢という問題に取り組むことはとても重要なことで、歳をとることへのネガティブな考えや理解を、「高齢者は社会の財産である」という考えに変える必要があります。

ダイアログ・ウィズ・タイムの体験が多くの人に認められることで、日本、そして世界で、「歳を重ねること」が素敵なことであるという考えを拡げていくことが必ずできると信じています。

発案者 アンドレアス・ハイネッケ



### 【日本初開催。アテンドの皆さん】



(2017年3月25日@ダイアログ東京)

## ダイアログ・ウィズ・タイム日本開催実行委員会

一般社団法人 ダイアローグ・ジャパン・ソサエティ  
代表理事 志村季世恵 <http://dialogue-japan.org/>  
〒150-0001 東京都渋谷区神宮前2-8-2 B1 TEL:03-3479-9683

特別協力 



The concept of »Dialogue with Time« and its related trademarks are the intellectual property of Dialogue Social Enterprise GmbH.